



Ichinohe



笑顔咲く、ときめきの春
✿ご入学おめでとう!!
一戸中学校入学式挙行

C O N T E N T S

■目次

02 小鳥谷バイパス、ついに完成!!

04 ◎特集 きらり 一戸人

10 町長施政方針(要旨)

18 教育委員長施政方針(要旨)

20 平成20年度予算

22 まちの話題

26 国民健康保険だより

27 運動公園だより
図書館だより

29 まちのお知らせひろば



◎表紙の言葉

町内のトップを切り平成20年度一戸中学校入学式が、4月4日に挙行されました。真新しい、少し大きめの制服に身を包んだ新入生55人は、終始緊張した面持ちで式に臨みました。上の写真は入場前に、笑顔を見せる新入生。(関連記事は23頁)

町民悲願の小鳥谷バイパス、ついに完成!!



- ④ウォーキング前に皆で準備体操。ウォーキング、楽しみです
- ⑤新たな道路の感触を踏み、足取りも軽く
- ⑥ウォーキングの後のお楽しみ。おなじみのごちそうに心も体も満たされ、笑顔に

みんなで楽しく小鳥谷バイパス開通記念ふれあいウォーク
さわやかな青空が広がる三月九日、小鳥谷バイパス開通記念ふれあいウォークが行われ、六百人を超える地域住民が参加し、思い思いに新しい道路の感触を楽しみました。
ふれあいウォークでは工事概要や小鳥谷の今昔などのパネル展や産直販売、豚汁ふるまいなどが行われ、参加者は心地よい汗を流し、楽しい一時を過ごしました。

◎特に地元では待ち望んだ道路

ウォークに参加した 滝沢 和助さん

今日は天気も良くて、運動にもなり、楽しい時間を過ごしました。特に地元では、10年ほど前から待ち望んでいた道路でしたから、うれしく思います。完成したバイパスはとても立派で、旧国道4号は、車の交通量が少なくなって、安全になり、とても良かったと思います。



- ⑦バイパス工事や小鳥谷今昔、文化財などのパネル展も大人気!!



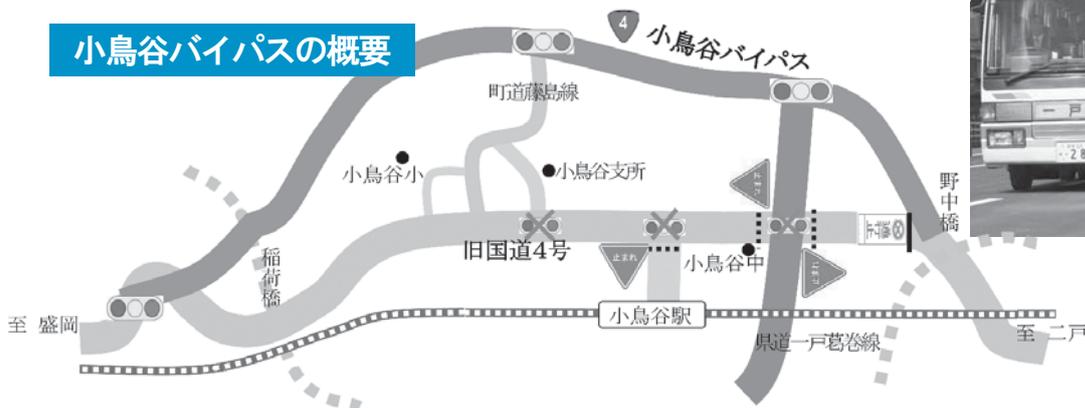


↑関係者が一同に介し、ファンファーレとともに盛大にテープカットが行われました



↑開通式のフィナーレはパレード。車内からは、晴れやかな笑顔が見られ、多くの町民が訪れました。

小鳥谷バイパスの概要



ついに完成!! 一般国道4号
小鳥谷バイパス開通式
 一般国道4号小鳥谷バイパスの開通式が、三月十五日行われました。

式に先立ち高屋敷神楽が権現舞を披露。式では、久保田勝東北地方整備局長の式辞に続き、稲葉暉町長が「待ちに待った小鳥谷バイパスの開通。一戸町の大動脈として、救命救急への効果や、世界遺産を目指す平泉と本町の御所野遺跡などの文化交流の面でも大いに期待し、活用させていきたいきたいと思います」と祝辞を述べました。その後、テープカットとパレードが盛大に行われました。

バイパスは、小鳥谷字中村から同字野中までの延長一・六キロで、住宅が密集する中心部を貫通する従来の国道西側の山間部を通ります。道路は、昭和六十三年度に着手。片側一車線で、幅員十三・五メートル、歩道二・五メートル。総事業費は約五十一億円です。

この道路の完成で住宅などの密集地域で交通混雑の緩和、急カーブ解消で、安全性の向上などの効果が期待されます。

◎バイパスから小鳥谷小学校見えたよ 小鳥谷小学校 児童の皆さん



バイパスは、とても立派で景色も良くとても楽しかったです。歩いてみると自分たちの小学校も見えて、すごくうれしかったです。

今までは通学する時に、車もうるさく、トラックなど大きな車も多くて怖かったけど、安心して通学できそうです。

◎子どもたちの登下校がすごく安心 小鳥谷小学校 保護者の皆さん



子どもたちの登下校がすごく安全になり、ほっとしています。バイパスも歩道が広くてすごく歩きやすく、とても良かったです。

今日は、すごい人出で、小鳥谷まつりなど、地域のイベントにこのようにたくさんの人が来てくれるとうれしいですね。

春、躍動の季節。

今年も町には世界、全国、地域を舞台に、活躍する人であふれています。

子年の四月、

この人たちにチュー目、きらり一戸人特集です。



カーリングミックスダブルス第一回日本選手権

を制し、フィンランドで開催された世界選手権に出場したチーム岩手の苦米地賢司さん、平美智子さん。この冬、私たちが大いに熱くさせてくれた。

世界二十四カ国が出場した同選手権で、予選リーグ三勝四敗で決勝トーナメント進出は逃したが、世界の強豪を相手に堂々のプレーが印象的だ。

大躍進した今シーズンを、苦米地さんは「新しい種目でメダルを手にできた。自分たちにとって最高のシーズン」、平さんは「いろいろな経験ができたし、支えられていることを実感した」と振り返る。

この地域だけでなく、岩手、日本が注目した世界選手権は「世界と互角にわたりあえるこ

とを肌で強く感じた。カーリング大国のカナダやスウェーデンは、リンクにより大きく変わるストーンの変化に対応することができ、チャンスをもにできる点が長けていた。それが私たちの今後の課題」と苦米地さんは分析する。

二人がカーリングを始めたのは八年前。長野五輪で注目されたカーリングを二戸地域で盛り上げようと五輪で活躍した敦賀選手、小笠原(旧姓：小野寺)選手が二戸市に来訪。二人は教室に参加し、オリンピック選手から楽しさなどカーリングの魅力を学び、本格的に競技を始めるきっかけになった。

チーム岩手を仲間と結成し、苦米地さんは県職員、平さんは会社員とそれぞれの職業を

カーリングミックスダブルス第一回日本選手権を制し、フィンランドで開催された世界選手権出場を果たした

持ちながら、青少年の家(二戸市)で週に二回の練習に駆けつけ、青森市や北海道での合宿を続けた。

そして迎えた今シーズン、初のカーリングミックスダブルス第一回日本選手権が開催された。苦米地さんは「平さんは、難しいショットで果敢に攻め、相手にプレッシャーを与える」と評し、平さんは「苦米地さんは、広い視野で落ち着いた戦術が持ち味」と絶大な信頼を寄せる二人の快進撃が始まった。

白星を重ね、臨んだ決勝戦。相手は八年前にカーリングの魅力を教えてくれた敦賀・小笠原ペア。勝つても負けてもプレーを通して自分たちの成長を伝えたい。二人は、勝利という最高の形で恩返しをすることができた。

三月二十七日に行われた世界選手権の帰国報告会を終え、コーチとして随行してくれた小笠原選手からの手紙に、平

▼ミックスダブルス世界選手権で日の丸を背負い、日本代表として世界を舞台に活躍する苦米地、平両選手



選手のほほに熱い涙が伝った。「皆さんの温かい支え、負けた悔しさ、申し訳なさ…。そして、大変な思いをしていたのは私たちだけではなかったという、いろいろ想いが巡り、自然とあふれた」と平さんは照れくさそうに教えてくれた。

苦米地さんは「忙しい中、快く送り出してくれた職場の方、町、町内会、友達、親戚…。本当にたくさんの方のおかげで世界選手権に出場できました。母親には、無理を承知で応援をお願いし、フィンランドまで来てもらった。うれしかった」と感謝に尽きない。

これから十一月までオフシーズン。二人は筋力トレーニングやプレーの映像などを見ながらイメージトレーニングを続け、シーズンに備える。「地域に感謝の意味でも、老若男女が楽しめるカーリングの魅力伝えていきたい」と二人は口をそろえる。あの日敦賀、小笠原選手のように。

大変な思いをしていたのは、
私たちだけではなかった。

世界と互角にわたりあえ
ることを、肌で強く感じた。

◎とまべち けんじ
職業：県職員
昭和53年生まれ29歳
趣味はテニス、ゲーム
好きな食べ物：春巻

◎たいら みちこ
職業：会社員
昭和55年生まれ28歳
趣味はテニス
好きな食べ物：ラーメン

苦米地賢司さん 平 美智子さん

チーム岩手 高善寺字野田

チーム岩手 二戸市

◎フィンランドで行われたミックスダブルス世界選手権で奮闘する苦米地、平両選手（写真提供：浪岡正行県カーリング協会長）

M a k i N i s h i d a t e

全国高等学校スキー大会女子距離5キロ
クラシカルで三位に入賞を果たした



●にしだて まき／
17歳／中学ではスキー部・陸上部に所属／趣味は音楽鑑賞／好きな教科：体育／好きな食べ物：奥中山の乳製品

表彰台の一番高い場所に、 一度だけでも立ってみたい

西舘 真紀さん

盛岡南高等学校3年 中山字切掛

1 月に新潟県十日町市で行われた全国高校スキー大会女子距離5キロクラシカルで三位に入賞した西舘真紀さん。現在は合宿や大会が続くスキーシーズンが終わり、陸上部での長距離や駅伝に取り組む日々が続く。

西舘さんは、今年の冬を振り返り、「夏場に陸上の走り込みや筋力トレーニングをしつかり行い、インターハイでは三位に入賞するなど結果は残せた。けれども、その後の国体、選抜対大会では入賞を逃し、今の時点では悔しい気持ちの方が大きい」と唇をかむ。

クロスカントリール競技を始めたのは小学校一年の時。「物心がついた時にはスキーに乗っていました。最初の二年間は滑れませんでした。三年ころから大会で入賞するようになりました」となつかし

そうに話す。地域のスキー関係者の熱心な指導や、仲間にも恵まれた。地域の人からも温かい声を掛けてもらう。

高校進学で悩んだ時も奥中山から盛岡南高等学校に進んだ先輩とリレーが組めることを考え、進学を決意した。「一年生の冬、その先輩方と三人でチームを組み、インターハイで七位に入賞できた。それが、すごく良い思い出として残っていますね」とにこやかにほほ笑む。

「夏は体力、筋力をつけ、冬のスキーでは技術を身に付け、インターハイだけでなく、国体でも入賞したい。そして、表彰台の一番高い場所に一度だけでも立ってみたいんです。それが支えてくれる人への恩返し」と抱負を語る西舘さん。高校生として、最後のシーズンが幕を開ける。



Yoshihiko Suzuki



シニア海外ボランティアとして、乳質管理体制の改善指導のため、ボリビアに赴く

鈴木 義彦さん

JICA シニアボランティア 奥中山字西田子

●すずき よしひこ / 55歳 / 稚内市の農協勤務後、いわて奥中山農協で、家畜人工授精や生産管理、経営管理など畜産酪農分野の指導全般に携わる。昨年2月に退職。同年4月にJICA（国際協力機構）に応募し、今年の4月から2年間ボリビアで活動する

シニア海外ボランティアとして南アメリカ大陸

のボリビアに赴く鈴木義彦さんは、二〇一〇年の三月までの二年間、現地の生乳加工工場で乳室管理体制の改善指導などを行うため日本を旅立つ。

いわて奥中山農協で家畜人工授精や生産管理などに携わった鈴木さん。昨年二月に勇退し、「人生のセカンドライフとして、長年培った技術を、国際社会の一員として積極的に実践したい」とJICA（国際協力機構）に応募した。

「実は、長男の嫁さんとお父さんもJICAで活躍されている。地域ボランティアも考えたが、地域の知識、技術は十分。多くの方から育てていただいた知識、技術をもつと必要とするところへ還元できれば、と考えた」と話す。

現地には、現時点では、J

IICAの現地事務所はあるものの、一人暮らしで自炊を行う予定。

「行ってみなければ分からない部分が多く、日本で平和に慣れているので、気を引き締めていかなければなりません」と表情を引き締める。

続けて「技術は教えて終わりではない。自分たちが自立し、実践できて技術としてなり立つ。地球の裏側に住む現地の人たちと、その気持ちを共有できるパートナーシップを築いていきたい。それは自分の成長にもつながると思う」と力強く語る。

現地の歴史や文化に親しむことも楽しみという鈴木さん。「今回のことは子供たちは大賛成。家内は消極的な賛成という感じ。心配もあるのでしよう」としみじみと振り返る。家族の思いを胸に旅立つ。

地球の裏側で、築き上げて
いききたいパートナーシップ

Y u i H u r e s a w a



Y u m i S a k a m o t o

明治神宮至誠館弓道場で行われた
全国高等学校弓道選抜大会に出場

觸澤唯さん・坂本裕美さん

宇別字椛木平 福岡高等学校3年 中山字上家向

●ふれさわ ゆい / 17歳 / 中学ではバレー部・陸上部に所属 / 趣味は運動 / 好きな教科：理科 / 好きな食べ物：地元の野菜

●さかもと ゆみ / 17歳 / 中学ではバスケット部・スキー部・陸上部に所属 / 趣味はスポーツ / 好きな教科：体育 / 好きな食べ物：レタス

もう一度、全国大会を目指す

全 国高等学校弓道選抜大会（三月二十八〜三十日・東京都）女子団体の部に出場した福岡高等学校弓道部。

一月に仙台市で行われた東北高校選抜大会では準優勝、部員みんなの夢、全国の晴れ舞台に町出身の坂本裕美さんと觸澤唯さんが立った。

「予選突破」を合言葉に、全国大会に出場した感想を坂本さんは「気持はリラックスしていたが、体はがちがちでした」と話し、觸澤さんは「初めての全国大会で緊張したけれど、先生やみんながいて、心強かった」と話す。

結果は参加五十チームから上位十六チームが本選へ進む予選で、福岡高校は十二射中八中と健闘したが、惜しくも十七位で無念の涙を飲んだ。坂本さんは「結果は満足できるものではなかったが、次

に生きる経験になった。もっと練習して全国でも安心できる自信をつかみたい」と話し、觸澤さんは「決勝戦を観戦したが、そのレベルの高さには感動するものがあった。これまでも良い練習ができていて、時間を大切にして自信を養いたい」と意気込みを語る。

二人の恩師で、弓道の魅力を教えてくれた高橋良子先生（高体連弓道専門部長）は三月で定年を迎えた。先生の花道を飾るためにも今回の全国大会出場は大きな意味があった。奥中山から電車では間に合わない朝練習の送迎や経済的な負担、二人とも、家族や応援してくれる地域の方には感謝の気持ちでいっぱいと話す。感謝の気持ちや成長した姿を示すために、合言葉は「もう一度全国に」。二人は、今日も弓道場で、練習に励む。

時間を大切にし、自信を養う



平成19年度の学校給食調理
コンクールで岩手県学校給
食研究会会長賞を受賞した

平

成十九年度学校給食調理コンクールの自由献立部門で久慈二戸地域の代表で参加した二戸町食育センターは、最高賞の岩手県教育委員会教育長賞に続く岩手県学校給食研究会会長賞を受賞した。受賞は昭和四十七年以来二回目。

コンクールは、県内八ブロックの代表が学校栄養教諭、学校栄養職員、調理員でメンバー構成し、腕を競う。

献立は、小学校中学年を対象に四人分作成し、審査基準は①獨創性、普及性（実際に実施可能なもの）②安全性が配慮されたもの③地域の特徴をふまえ、栄養バランスを考慮し、献立作成の狙いが明確であるもので審査が行われた。町食育センターが作成した献立はアマランサス入りカレーピラフ、コーン入りスー

プ（いなぎび入り）、チキンパプリカ焼き、野菜のえごまソースがけ、牛乳、りんご。

学校栄養職員の猿舘たえ子さんは「二戸らしい雑穀を取り入れた献立。アマランサスがバターに合うことに着目、古くからある雑穀のイメージを現代的な形で取り入れた。スープにとろみをつけるため、口ざわりの良く栄養価の高いいなぎびを加えた。えごまもチキンも地場産。パプリカで洋風にアレンジした」と話す。注目はその材料費。出品した全献立の平均は二四三・一四円に対し、同センターの献立は一八一・六五円。

猿舘さんは「子供たちに雑穀文化を残し、新しい食文化を創り上げたい。子供たちが喜んで食べてくれるのは、本当にうれしいですよ」と話す。価値ある給食がここにある。

Syokukiku Center



二戸町食育センター

モットーは「安全でおいしい」 一戸字砂森

●職員 24名。これまで岩手県学校給食会長賞（昭和47年）、一戸町長表彰（平成5年）、文部大臣賞（平成5年）など受賞多数。毎朝8時から調理を開始し、町内7小学校・5中学校、1保育所、1児童館に1,326食（平成19年度）の給食を子供たちへ届ける

子供たちに雑穀文化を残し、
新しい食文化を創り上げたい

町長施政方針(要旨)

三月の町議会定例会で町長施政方針演説が行われ、冒頭で、「今、大きな、かつ、荒い波が予想以上に押し寄せています。従来の過疎化、少子化、財政難等の内在的なものに加えて、各資材の大幅な高騰や農協合併という外在的、また、国際的な波の影響がはつきりと現れています。平成二十年度は、その中で一戸町という地域社会の存立基盤を手さぐりでもしっかりつかんでいく年にしたいと考えています」と述べていました。

まちづくりの取組方針(開発計画・地域づくり・住民協働・情報化)

平成十一年度からの第四次一戸町総合開発計画が最終年度を迎えます。

平成二十年度には、新たな第五次一戸町総合開発計画の策定に着手しますが、地域社会の存立基盤をしっかりとつかむ長期にわたる一戸町の進路を、住民の皆様と共に創りあげることが基本方針として取り組んでいきます。

計画策定では、あらゆる習慣の変革のためには住民主体で取り組むことが重要であり、激しく変化する情勢に柔軟に対応できるように、これまで十年間としていた計画期間を四年間に設定するなど、分かり



↑ 来田地区振興会がコミュニティ助成事業で整備したゲートボール場

やすく実効性のある計画を目指してまいります。
地域活動への支援については、**地域活動自立促進ステツ**

プアップ事業などの町独自事業や、外部団体が実施する**コミュニティ助成事業**などの事業を紹介しながら行ってきた

ところであり、その結果として、地域課題の発見とその対応、財源の確保、そして人材発掘など、各地域が独自に取り組むような機運が着実に高まってきたことは実感されるところであり、事業の成果として評価できるものと考えています。

これまでの成果を踏まえて考えてみると、地域と町の信頼関係の構築が重要です。地域という現場に向き、そこで直接住民と話を

することが最も大切であることを常々職員に指示しているところであり、今後も基本とします。

町として、予算面での支援も重要ですが、地域活動の好事例の公表や地域間の意見交流、行政情報の直接の提供を目的とした会議を開催し、地域交流を促進していきます。

平成十七年度から五年間を目標に実施してきました一戸町行財政システム改革実施計画は、実施期間が残り二年度となりました。

これまでの状況は、設定した目標三十二項目に対し70%の達成率となっております。

継続中の項目は、二十年度においても、これまでの評価と現下の社会情勢を踏まえな

用語解説

一戸町総合開発計画

平成十一年度を初年度とし、二十年度を目標年度とする町の最上位の計画。まちづくりの町民の共通目標や財政の基本指針を明らかにするもの。

地域活動自立促進

進ステツプアップ事業

各地域の活動をさらに活性化





↑昨年度の3月議会で行った議会中継システム

がら、引き続き取り組んでいきますが、二十一年度以降の財政需要に適切に対応できるような収入確保策、事業の厳選及び経費削減などを目的として実施計画の見直しに着手します。残りの30%についても、行政サービス品質改善運動などと併せ、達成に向けて取り組んでいきます。

デマンド型交通は、町の公共交通体系を再構築するものであり、住民の利便性向上を第一に、併せて将来とも安定して継続できる経営主体の組織化に向けて、引き続き関係者との話し合いを進め、本年秋に試験運行を開始したいと考えています。

また、このデマンド型交通は、町においては新たな試みでもあるので、事前の周知や各地区での利用方法の説明などをきめ細やかに行ない、より多くの住民にご利用いただけるようにしていきます。

情報化の推進は、昨年、一戸、小鳥谷、姉帯間の**光ファイバー**敷設や**議会中継システム**の整備、携帯電話向けの町ホームページの開設などを行いました。加えて、現在開設している町ホームページの全面見直しにも着手しており、本年六月にはリニューアルします。

これらの新たな機能を活用し、カメラの画像を介し、住民の健康相談や災害に備えての河川等危険箇所等の遠隔監視、あるいはホームページや携帯電話を利用した広聴活動やアンケート調査など、住民からの情報の流れをまちづくりの最大限に生かしていきます。

テレビ・デジタル放送は、昨年八月には折爪岳からデジタル放送の電波が発信されていますが、個々の世帯の電波受信状況など、町内の事業者からの協力を得て情報を収集し、共同受信組合などへの対



↑新たな健診の制度（特定健診）が始まりました

応について悩みや相談がないか調査するなど、情報の収集と住民への情報提供に努めながら、必要な対策を検討していきます。

保健・医療・福祉分野

生まれ育ち、そこで暮らし、生涯を終える過程で誰もが願うことは、心身の健康であり安心を感じることができるといえます。

町民の皆様が、健康を維持し元気に暮らし続けられるよう、各地



↑学童保育で行うさまざまな取り組み

域に出向き健康づくり教室を実施してきましたが、さらに多くの地域で実施できるように努力していきます。

保健事業は、平成二十年四月から保険者ごとに特定健診、特定保健指導を義務づけた健診の制度が新たに始まります。

メタボリックシンドロームの予防、解消に重点をおいた健診となることから、健診は自分の生活習慣を振り返る絶好の機会と位置づけ、行動変容につながる保健指導を行っていきます。

母子保健は、平成十九年度から妊婦の無料健診の回数を増やし、安心して出産できる環境を支援してきましたが、さらに、乳幼児健診や母子相談事業を充実させるとともに、子育て支援として、育児支援教室の開催や育児サークル活

する目的で実施するもの。特徴はそれぞれの団体が審査員の前で発表し、結果に基づき、補助額を確定。

コミュニティ助成事業

地域の健全な発展を図るとともに宝くじ普及広報事業を行うことを目的として（財）自治総合センター宝くじ普及広報の収入を財源に行う事業。

デマンド型交通

事前に電話などで予約した方の家や指定する場所を順次回りながら、それぞれの目的地で下ろす「乗り合い」方式の交通システム。

光ファイバー

ガラスなどの細い繊維でできた光を通す通信ケーブル。電気信号を流して通信するメタルケーブルに比べて信号の減衰が少なく、長距離でのデータ通信が可能。

メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満（内臓肥満・腹部肥満）に高血糖・高血圧・高脂血症のうち2つ以上を合併した状態。

介護予防事業

主に高齢者が、介護を必要とする状態を未然に防ぎ、いつまでも健康で生き生きとした生活を送れるよう支援するための事業。

一般の高齢者を対象とした各地域での健康づくり教室や、運動・栄養・口腔・閉じこもり・認知症・うつ病予防など高齢者の状況に応じた教室や訪問を行っています。

後期高齢者医療制度

今年の四月から施行された75歳以上の高齢者などを対象とする他の健康保険とは独立した医療制度。

地域水道ビジョン

今後更安全・快適な水道水を供給し続けるため、当町の水道事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で目指すべき将来像を描き、その実現のための方策などを作成し公表するもの。



↑地域の自主的な健康づくり活動を支援します

動の充実を図っていきます。

児童福祉は、小学校低学年を対象とした学童保育と保育所における乳児保育・延長保育・障害児保育・一時保育を継続して実施するとともに、

老朽化した保育施設などの環境改善を図っていきます。

児童福祉に関する相談業務を引き続き実施するとともに、関係者による「要保護児童対策地域協議会」において、虐待を受けている児童の早期発見と保護などに適切に対応していきます。

高齢者福祉事業は介護保険制度において、保健事業や**介護予防事業**を通じて、要介護者を増やさないようにする取り組みが重要であり、継続して最も力を入れるべき事業と

考えています。このことから、

地域の自主的な健康づくり活動を通して、予防事業の普及・支援に取り組み元気な高齢者を増やしていきます。

障害者福祉は、障害者自立支援法の激変緩和措置や経過措置を含め制度の普及に努めるとともに、障害者の方々が適切なサービスが利用できるよう支援していきます。

国民健康保険事業では、平成十九年度の医療給付費



↑地域水道ビジョンを策定します

水道事業は、平糠地区の水道工事が平成十九年度で完了し、対象世帯58戸のうち47戸がすでに給水工事を終えています。

が、このまま推移しますと十二億五千万円で、前年より四千万円ほど多くなると見込んでおり、平成二十年度においても、さらに4〜5%伸びるものと想定しています。

平成十九年度に、議員各位と被保険者など、町民のご理解をいただいて保険税の税率改正を行わせていただいたこともあり、現時点において、平成二十年度の国保税は、応益割と応能割の比率の見直しも必要と考えられますが、総額では現在のままで運営できるものと推計しています。

国の医療制度改正により、平成二十年度から**後期高齢者医療制度**が新たに始まりますので、この新制度が円滑に施行できるよう、取り組んでいきたいと考えています。

生活環境分野

平成二十年度の事業としては、**地域水道ビジョン**の策定を行うことにしています。

当町では、事業の拡張計画はほぼ終わり、今後は設備の老朽化対策と経費の節減を目指す維持管理対策、さらには災害対策が課題となりますので、ビジョンに盛り込み、計画を策定していきます。

水道事業会計の収支については、平成十九年度において、約一千九百万円の純利益を予定し、累計で約二億円の利益剰余金を見込んでいます。

しかし、水道事業においても人口の減少は大きく影響しており、水道料収入は毎年減少を続けていますし、給水区域の拡張に伴い、その収入の三分の二が借入金返済に消える状況で、経営的には厳しい状況であり、引き続き効率的な経営を心掛けていきます。

汚水処理事業については、はじめに公共下水道事業ですが、排水可能な区域が145haに拡大され、町の中心部はおおむね整備されつつありますが、使用開始した区域の水洗化状況は、接続戸数598戸、水洗化率44%となっており、引き続き



↑ゴミの減量が、経費節減に最も効果的と考えます

き水洗化促進を図ります。

平成二十年度の建設事業は、使用料収入の増加を目指し、投資効率がより高い地区から順に進めることとし、北館、平田沢、砂森地区の整備を行っていきます。

また、奥中山地区の農業集落排水事業の水洗化率は73.9%となっております。

浄化槽整備事業は、これまでに64基設置し、平成二十年度は20基を予定しています。

これまで公共下水道により実施予定でした小鳥谷、姉帯地区については、新年度から浄化槽事業で整備することとしましたので、今後、重点的に普及促進を図ります。

廃棄物処理は、平成二十九年度の稼働に向け、二戸地区と久慈地区の合同ごみ処理施設の建設が計画されています。

建設予定地は九戸村が有力ですが、当町からは現有施設である二戸地区クリーンセンターと比べ、位置的に遠くなるため、輸送コストも大幅に増加することが予想されます。

ごみ処理に係る分担金は、ごみの搬入量に応じて納めることとなりますので、経費節減のために私たちができることは、ごみを減らすことであり、単純ですが最も効果的であると考えています。

町内で出される家庭ごみの中で、特に可燃ごみについては、台所からの生ごみであります「厨芥（ちゅうかい）ごみ」が約半分を占めているという調査結果があります。この生ごみをどう処理するか、このことが大きなポイントだと思っています。

私は、従来の焼却処理からコンポストや電動生ごみ処理機により堆肥化することを基本としながら、さらに一歩進んでバイオガス化あるいは乾燥して燃料化するなど全量の

資源化を目指した取り組みが重要だと考えています。

なお、可燃物から生ごみが全て取り除かれるとすると、残りの可燃物（プラスチック、紙類）が、燃料として再利用しやすくなります。この点も、大きなメリットです。

新処理施設の建設計画が動き始めた今を

ごみ処理の転換期と捉え、意識改革のスタートの年にしたいと考えており、今後は町衛生班連合会をはじめとした住民組織と共にごみの減量化や資源化を推進していきます。

生活基盤分野

国道4号小鳥谷バイパスは、

三月に使用開始されることが決定し、付け替え道路として改良しました野中女鹿口線、藤島線も合わせて通行できるようになるほか、バイパスに取り付く県道一戸葛巻線も、



↑3月に行われた国道4号小鳥谷バイパスウォーク

バイパス開通に合わせて使用開始予定です。これにより交通環境の改善が大きく図られるものと期待しています。

国道4号は、小鳥谷に架かる「野中橋」が老朽化に伴って架け替えられることとなり、三月末までに仮橋が架けられ、平成二十一年度末の完成に向け

仕事を進めると聞いていますので、早期完成に向け、協力していきたいと考えています。

鳥海線整備は、明り部の道路改良工事と、トンネルの工事発注を行ない、平成二十二年度の完成に向け事業を進めています。

平成十七年度から県代行で実施しています「いわて子ども森」関連道路は、二十一年度の完成に向け工事が進められています。

一戸山形線は、平成二十年度、堂ノ前橋架け替え工事が計画されています。県営街路事業上野西法寺線

コンポスト

生ごみを発酵させて堆肥化させる容器。衛生班連合会で、安くあっせん販売しています。

バイオガス

家畜排せつ物や生ごみなどを微生物が分解する際に発生するガス。ガス燃料として、発電やボイラーなどに使用できます。

国道4号小鳥谷バイパス

小鳥谷の中村地区から野中地区までの2.6キロが三月十五日に開通しました。これにより、交通混雑の緩和・解消や道環境の改善がなされました。（2ページ参照）

●一戸町携帯ホームページがドコモ社の公式サイトに

4月7日から一戸町の携帯電話版ホームページがNTTドコモ社の公式サイトとなります。iモード→iMenu→メニューリスト→タウン情報/行政からご覧ください。

の第二期工事は、平成二十年
度に完成し、幅員17m（両側
歩道4m）、延長536mが開通予
定で、第二期分の事業費は約
十八億円です。引続き第三期
工事についても県営事業とし
て早期着工されるよう、まず
は町で予備調査を実施し、コ
スト削減案を提示するなど強
力に要請していきます。

身近な公園整
備として計画し
ている（仮称）
砂森緑地公園は、
平成十九年度か
ら住民と協働に
よる取り組みを
開始しており、
住民の理解と満
足度が向上する
公園づくりを目
指します。

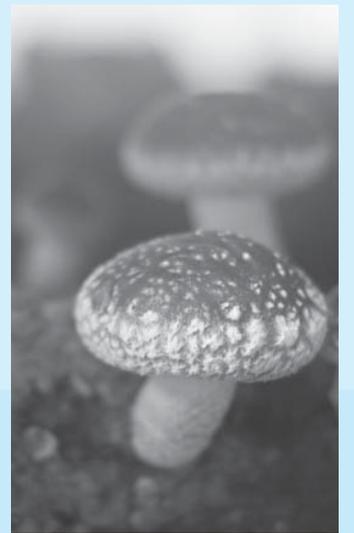


↑12月に行われた（仮称）砂森緑地公園の記念植樹

このような厳しい状況では
ありますが、地域特性を活か
した持続可能な農業経営の確
立に向けた挑戦も始まってお
り、新しい希望の芽も出てき
ていきますので、さらに町の魅
力や特色をより鮮明に打ち出
し、競争力を高め、農業所得
の向上に結びつくよう積極的
に支援していきたいと考えてい
ます。

例えば、昨
年、地球温暖
化への対応策
として取り組
んだ高森牧野
でのレタス栽
培は、予想を
上回る一・六
倍の収量を上
げており、今
年度もこの試
験栽培を継続
拡大し、さらに検証を深め実
践に結びつけていきます。

また、冬期間の生産品目と
して導入した菌床しいたけや
促成アスパラも、栽培規模・
販売額ともに町の重要作物に
成長しており、冬場の安定し
た収入確保に大いに貢献して
います。新年度においても、



↑菌床シイタケにも大きな期待

最近の燃料高騰への対応や他
の重点作物も含めた経営規模
拡大を推進するため、これま
で以上に県単補助事業を活用
し施設整備を支援していき
たいと考えています。

地産地消と農家収入の増大
を目的として推進してきまし
た産直施設についても、「サラ
ダボウル・こずや」が六年
連続で販売額一億円の大台を
維持しています

し、「イコオ産
直」施設も前年
に比べ伸びてい
ますので、今後
も販売額の増加
につながるよう
引き続き支援し
ていきます。

平成二十年春
には**奥中山地区
に新たな産直施設**
がオープンす



↑6年連続販売額1億円超えるサラダボウル・こずや

定となつてい
ますので、開
業に向けて支
援していき
たいと考えてい
ます。

次代を担う
農業後継者の
確保と人材育成については、
新規就農者経営確立支援事業
が徐々に実を結び、新規就農
者の生産量・販売額ともに実
績を伸ばしており、二十年度
にも一名の新規就農者がトマ
ト栽培を開始することとなつ
ています。

平成十九年度は、町内出身
のUターン者も新規就農して
いることから、今後もこの事
業により、新
たな就農者の
確保・育成を
推進してい
きます。

農業の振興
に不可欠な担
い手（**認定農
業者**など）や
地域営農リー
ダーの確保を
図るため、町
主催の研修会・

用語解説

砂森緑地公園

砂森地区（総合保健福祉セン
ター前）に整備予定の公園。
面積は約1.9ha。今年度はワー
クシヨップなどを行い、計画
の策定を予定。

奥中山地区に新たな産直施設

奥中山地区の国道4号沿いに
五月三日にオープン予定の産
直施設。大型車の駐車場、水
洗トイレ完備。



促成アスパラも冬場の
安定収入の確保に貢献

認定農業者

認定農業者制度はやる気と能
力のある農業者が五年後の農
業経営の改善を目指す「農業
経営改善計画」を作成し、町
が認定する制度。



↑安全安心な農畜産物生産を推進していきます

講演会を開催し、人材育成に重点をおいた取り組みを進めたいと考えています。

集落営農は、昨年、宇別地区に農用地利用改善団体が設立されており、二十年度には、他地区にも同様の団体の設立に向け、取り組みを強化していきたいと考えています。

トレーサビリティ運動についても、消費者の信頼の確保に不可欠なものですので、引き続きこの取り組みを支援し、安全で安心な農畜産物生産を推進していきます。

畜産振興は、肉用牛は、家畜飼料特別支援資金による経営の安定化や放牧を奨励し、低コスト生産を推進します。



↑畜産振興では、低コスト生産を推進します

酪農については、新たに草地・林地一体的総合整備事業を導入し、飼料生産基盤や生産施設の整備を行い、飼料自給率の向上による安定的な経営を目指すとともに、大規模経営による低コスト化を推進していきます。優良後継牛を育成して安全で質の高い牛乳生産の拡大を図り、併せて奥中山高原農協乳業の再建に向けても一定の範囲内で協力して参りたいと考えています。

林業振興は、間伐などの推進が課題となっていますので、いわて環境の森林整備事業による間伐などの実施とともに、平成十九年度から実施された

「森林整備地域活動支援交付金制度」

を活用した森林整備を進めます。

基盤整備は、森林基幹道「浪打姉帯線」並びに「安孫・平糠線」（旧緑資源幹線林道葛巻・田子線）について、引き続き事業促進を要請していきます。

間伐材などを利用した木質バイオマスエネルギーの活用については、町内の製材業者とNEDOとの共同研究による「パークチップ」による製材工場乾燥工程での熱利用事業」の実証試験が始まっており、さらなる活用の推進方策も考えていきます。

国営かんがい排水事業は、ダム・揚水機場・幹線水路などが完成し、約95%の進捗率となっています。既に竣工した施設を随時、国から委託を



↑畑地かんがいの共同水栓から放水の準備を行う消防団の第9分団

受ける形で使用を開始しており、これまでに、国で設置を行った共同給水栓7基により367ha、県営畑地帯総合整備事業で施行した給水栓（個別23基、共同2基）により176ha、併せて543haの農地にかんがいが可能となっています。

平成二十年度は、国営事業の第一期工事が完了することから、施設の管理運営組織となる土地改良区の設立に向けて取り組みとともに、関係機関の協力をいただきながら、本格的な水の有効利用につ

集落営農

集落ぐるみで農業機械・施設の共同利用、オペレーターの確保、農作業の分担、計画的な土地利用などを進め、地域全体の生産の効率化を図るなど合理的な農業を展開していくこと。

トレーサビリティ

農畜産物の生産者や生産過程情報、食品加工、流通に関する情報を各食品に添付し、食品の履歴をさかのぼり確認しよつとするシステム。

森林整備地域活動支援交付金制度

森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図る観点から、森林所有者などによる森林施策の実施に不可欠な地域活動を支援する制度。

NEDO

新エネルギー・産業技術総合開発機構は、日本の環境保護政策と科学技術開発の一端を担う独立行政法人。略称NEDO（ネド）。NEDO技術開発機構とも略称します。



↑昨年9月に、好評を博した萬代館の「萬代寄席」

取り組むイベントへの支援を行うとともに、映画館「萬代館」での記念事業を開催し、個性的で魅力ある中心市街地づくりに努めていきます。

企業誘致は、二戸・久慈両地方振興局、県北地区八市町村、いわて産業振興センターによる「**岩手県県北地域産業活性化協議会**」が設立され、食産業・電子部品産業・造船関連産業の集積を図る取り組みが本格的に始まる一方、宮城県へのトヨタ自動車の生

に努めていきます。盛岡東京電波株式会社一戸工場は、酸化亜鉛単結晶の生産育成炉の倍増計画が予定どおり進められ、今後の本格稼働に伴う雇用拡大が期待されることから、地場企業へのサポート体制と併せ、支援していききたいと考えています。

産業おこしは、**コミュニティ・ビジネス**を推進し、二十年度もこれまでのフォロアアップを行うとともに、新たな事業を募集し、起業化に向け支援していきます。

物産振興の取り組みは、地域おこし事業振興協議会が行う「**iショップ事業**」を支援し、掲載店舗・商品の拡大、充実を図ることにより、特産品を町内外へ広くPRするとともに



↑コミュニティビジネス支援事業を活用した結力カフェ（中山字大塚）

に、物産展の開催などを通じて会員登録を促し、販路拡大に努めていきます。

一戸町にはすばらしいものづくりの技術が連綿と受け継がれています。その優れた技術を活かし、新たなデザインなども検討し、一戸町の伝統工芸品として全国に発信していきたくと考えています。

観光は、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録による県内への観光客の増加が見込まれることから、県と連携しながら「御所野縄文公園」など町内観

用語解説

映画館「萬代館」での記念事業
萬代館創業百年の節目を迎える今年を記念し、行います。萬代館利活用事業実行委員会主催で映画祭や寄席などを十一月に行う計画です。

岩手県県北地域産業活性化協議会
地域の産業集積の形成、産業集積の活性化に関し、必要な事項について協議を行い、地域の産業集積の形成や活性化のために計画的な取り組みを行う協議会。

コミュニティ・ビジネス
地域住民が主体となり、地域資源を活用して、地域の抱える課題をビジネス的手法で解決し、コミュニティの再生を通じて、その活動で得た利益を地域に還元するビジネス。地域の活性化や新しい雇用の創出などの面から近年脚光を浴びています。経営主体も有限会社、NPO法人、協同組合などさまざまです。

iショップ事業

「御所野縄文公園」など町内観

産子会社と車両工場の進出、北上市への半導体メーカーの新工場建設など、その経済波及効果は東北各地へ及ぶものと大いに期待されることから、これまで以上に広域的視点に立ち、県と連携しながら関連産業の集積を目指すとともに、一戸インター工業団地への企業誘致に向けて、各種優遇制度のさらなるPR



↑広がる可能性、iショップ事業

ましても推進していきたく考えています。今回の農協合併に伴い生じる諸課題への対策は、役場内の部署を横断する「農協合併課題対策検討委員会」を設置し、対応策の一つとして、大変な苦勞をされている農家のため、総合相談窓口を設け各種の相談に応じており、今後も行います。

商業は、地元購買力確保のため、既存商店街とショッピングセンター双方が協力して



↑新しい冬の観光スポットとして、期待される菜魚湖のわかさぎ釣り



↑県と連携し、町内観光施設への誘客を図ります（御所野縄文公園）

現在、公共的な性格の強い仕事であっても、必ずしも公共的団体がそれを担う必要はないと考えます。町民にとつて一番都合の良いやり方で、より効率的な実施主体を柔軟に選択することが可



↑今年度もよろしくお願ひします

光施設への誘客を図るとともに、地域イベントなど各地域の特色ある資源を有効活用した観光バスツアーを設け、新たな観光資源の発掘に取り組んでいきます。

上馬淵川漁協が今年行なった菜魚湖でのわかさぎ試し釣りでは、十一日間で約三千人の入込み数があったことから、新しい冬の観光スポットとして、今後事業拡大に向けて支援を行なうとともに、温泉、スキー場への誘客にも繋げていきたいと考えています。

平成二十年度一般会計予算概要22〜23ページ参照

結びに

平成二十年度財政運営は、国の財政動向次第では大きく影響を受け、楽観視できない状況です。

こうした中、副町長を置かないことや町長の給料の減額、また、職員数についても退職者の不補充といった行財政改革を進める中で、町職員は、まちづくりの専門スタッフと

して極めて重要な役割を担っており、その能力開発に十分な配慮をするとともに、今以上に少ない数で、大きな力を発揮する少数精鋭体制に移行してまいります。

特に、**滞納などの滞納対策**は、負担する側の不公平感を取り除くのが最重要ですので、県の滞納整理機構との連携とともに、**二戸地方振興局税務室と人事交流**を行い、適正な滞納対策を推進していききたいと考えています。

悪質な滞納者に対しての動産・不動産などの差押さえを含め、徴収体制を見直し、収納率の向上に重点的に取り組みます。

能としますので、官民に拘らない、新たな地域経営の手法を検討していききたいと考えています。

最後に、以上の事業展開を推進するに当たり、町が他に誇れる特徴的な資源や技術を持つ企業、人材などを探し出すなど、町の潜在能力の可能性を、町民が理解し、自信と誇りを持つことが、町づくりの基本であると考えています。

職員一丸となつて、人的支援体制を整え、町内の各地から、「協働の町づくり」が「町民を主人公としての運動」として盛り上がるよう、力強く町政の舵取りを進めていく所存ですので、町民と議会の皆様にはさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

地域おこし事業振興協議会が行う携帯電話のホームページで地域の特産品をインターネット販売システムを利用して販売する事業。

滞納などの滞納対策
町税負担の不公平感を取り除くことを最優先に、町単独でも給与、預金、保険などの差し押さえを実施しています。

二戸地方振興局税務室と人事交流

四月から岩手県二戸地方振興局税務室から職員が派遣され、町から岩手県二戸地方振興局税務室へ職員が派遣されました。（28ページ参照）

教育委員長施政方針(要約)

教育基本目標：一戸の明日を拓く深く豊かな人間性の実現を目指す

3つの柱 特色のある学校 子どもが輝く教育 知性が光る町民への学びの場

学校教育の充実

子

子どもたちの「生きる力」、
「確かな学力」、「豊かな人間性、社会性」を育み、たくましい児童・生徒の育成に努めます。

基礎基本を身につけ、思考力、表現力、学習意欲などの向上を図り「生きる力」を育成することを実践してきました。学力向上推進委員会やジョイントティーチャー（学習補助員）の配置などで、一人ひとりの夢や希望に沿った確かな学力の定着を図ります。



昨年度の国際交流海外派遣事業報告会（2月1日、役場庁舎会議室）

就学前教育は、きわめて重要ですので、「二の教育」として、引き続き取り組みます。

小・中学校の教育

学

校経営においては達成目標を明確に掲げ、取り組むことが重要です。教育の営みは、知、徳、体とバランスのとれた、心身ともに健康でたくましい人間の育成を志向しており、そこを教育の不易の部分と認識しています。

▼知育は、校内研究や合同研修会を実施し、総合的な学習

を通じ「特色のある学校づくり」を推進します。

▼基礎的な学力などの達成目標を掲げ、子ども達を育てる「学びフェスト」(学校マニフェスト)の取り組みを広げます。

▼四名のALTの英語活動と、軽米町と合同で実施する中学生の国際交流海外派遣事業を実施し、小学校の英語教育も研修会を開催するなどして、国際理解教育を推進します。

▼情報教育は、教育用コンピュータを計画的に更新し、活用研究など、操作・指導能力の向上を図ります。

▼特別支援教育は、補助員制を継続して設置します。

▼徳育は、読書活動とあいさつ運動を重点に豊かな心の醸成に努めてきました。今後も一戸町子ども読書活動推進計画の実践に取り組みます。

▼「心の豊かさ」を育てる道徳教育を推進し、地域・保護者と連携し、家風づくり、校風づくりを推進し、信頼ある学校づくりに努めます。

▼教育相談や心の相談は引き続き実施し、相談に応じて、子どもの健全育成を支援します。特に、全国的に大きな問

題の「いじめ」は、道徳教育の充実と昨年度から実施した「学級生活満足度調査」を実施し、悩みを抱えている子どもたちを早期に発見し、適切な対応を迅速に図ります。

▼体育は、課題解決に積極的に取り組むたくましい子どもの育成が基本と考え、学校と三師会の連携を一層図ります。

▼学校給食は、給食を通して児童・生徒が、栄養、食の安全、食文化など理解を深められるように努めていきます。

▼食育の重要性は、学校現場や食育センターを活用した食の学習の場を設け、認識を深めるとともに、栄養バランスの取れた学校給食の実施に努めます。地元生産の食材の積極的な導入に努め、より安全でおいしい給食を提供し、充実した食育を推進します。

▼安全対策は、不測の事態を予想し、対処の指導徹底を図ります。危機管理マニュアル、各学校の地域安全マップを活用し、子どもを守る会、スクールガードなどと連携し、地域ぐるみで子どもの安全を守る体制を充実させます。

▼校舎などの安全対策は、小

総合型スポーツクラブの一環で行う「いちのへジュニアクラブ」



鳥谷小学校の大規模改造工事を施工し、耐震化を図ります。▼学校統合は、平成十九年二月に鳥海中学校統合問題を考える会が発足し、協議してきています。今後は、地域の方々とさらに協議を重ね、統合の方向で進めていきたいと考えていますし、他地区の相談にも積極的に応じていきます。

新 生涯学習の推進
新しいまちづくりには、地域の実情を把握し、社会変化にも柔軟に対応でき

るたくましく創造性に富んだ人材を育成していくことが不可欠です。

▼教育振興運動と家庭教育学級は、家庭、学校、地域社会が連携し、子どもたちを育て、大人も成長するための学習機会や意識啓発に取り組みます。▼青少年教育は、ジュニアリーダーや地区公民館などと連携し、家庭や学校と地域で子どもを育てる運動を推進します。そのため、「放課後子どもプラン」を推進します。▼「少子化問題」や「女性対策」、

「男女共同参画社会の実現」などの課題は、いずれも相互に関連し、「二戸町男女共同参画基本計画」をもとに、具体的な行動計画をまとめ、基本的な考え方の啓発を図ります。

▼公民館活動は、中央公民館と四力所の地区公民館を中心に各地区の生涯学習の事業やコミュニティセンターの役割を担います。自治公民館や関係団体と連携し、豊かで活力ある地域づくりを進めます。

▼町立図書館は「地域を支える情報拠点」を活動の柱に据え、支持される施設です。地域や住民の課題解決に情報の提供、地域資料収集の拡充を図り、地区公民館や小中学校や各部署と連携を深め、図書館サービスの浸透を図ります。

芸術文化活動の振興

芸 術文化活動は、町民文化センター、コミュニティ

ティセーターを中心に、展示会やコンサートなどを身近に親しみ、優れた芸術作品を鑑賞できるような機会を提供します。

文化財保護は、御所野遺跡の世界遺産登録を目指し、四

道県と関係市町村が連携して「北海道・北東北の縄文遺跡群」として文化庁に暫定リスト登録の提案書を提出しました。今後、登録の運動を進めます。一戸町は縄文遺跡だけでなく、有形・無形の文化財が多い町です。面岸の箕、鳥越の竹細工などの伝統工芸などの貴重な技術は、展示会を計画し、全国の貴重な出土品もあわせて紹介する予定です。

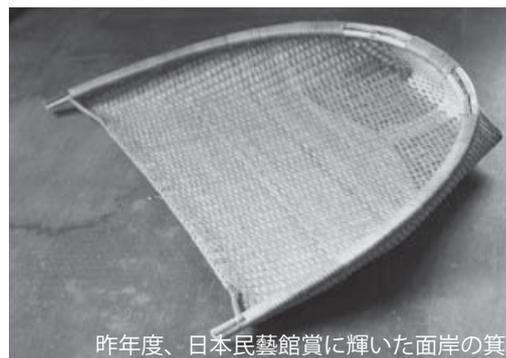
奥州街道の整備や歴史資料・あるいは民俗資料の調査、さらには無形文化財である郷土芸能の振興などを図ります。

社会体育・スポーツの振興

地 域の活力の源は健康です。自分の健康は自分でつくるをモットーに、総合

運動公園を中心に、各施設の利用促進を図ります。特に健康づくり事業は、町長部局と連携し、対象を拡大、運動の習慣化を図ります。

一戸・鳥海・小鳥谷地区を対象に総合型地域スポーツクラブの立ち上げを予定し、各地区公民館と連携し、地域一体のクラブ実施を支援します。文化・スポーツ事業は一部



昨年度、日本民藝館賞に輝いた面岸の箕

を一戸文化・スポーツNPOに委託し、成果を挙げました。今年度も連携を深めます。

最後に、「開かれた学校」について申し上げます。

充実した学校教育は、学校・家庭・地域社会の連携・協力が不可欠と考え、学校評議員制度を学校運営に活かし、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指していきます。

学校参観日「みんなで学校へ行こう」は、引き続き実施し、学校の特色をもっと多くの町民の方々に知っていただきたいと考えています。

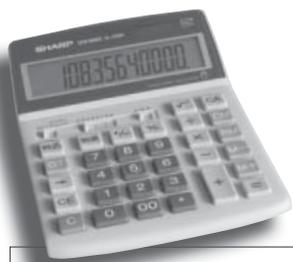
各学校で発行する「学校だより」を回覧し、学校経営に地域住民の理解と協力を得られる環境づくりを進めます。

一般会計予算昨年比 1 億 3,600 万円増

まちづくりに約 108 億円

一般会計 約 73 億円
 特別会計 約 30 億円
 水道会計 約 5 億円

会計名		20 年度予算	19 年度予算	伸び率
一般会計		72 億 7,800 万円	71 億 4,200 万円	1.9%
特別会計	国民健康保険事業	21 億 0,689 万円	20 億 9,774 万円	0.4%
	索道事業	7,139 万円	7,785 万円	▲ 8.3%
	老人保健	1 億 5,275 万円	16 億 2,106 万円	▲ 90.6%
	土地取得	235 万円	239 万円	▲ 1.4%
	工業団地事業	631 万円	640 万円	▲ 1.4%
	農業集落排水事業	6,844 万円	6,907 万円	▲ 0.9%
	下水道事業	4 億 2,183 万円	4 億 2,600 万円	▲ 1.0%
	個別生活排水処理事業	2,869 万円	2,032 万円	41.2%
	国営土地改良施設管理	4,039 万円	2,855 万円	41.5%
	後期高齢者医療	1 億 3,786 万円	—	皆増
水道事業会計（支出）		5 億 2,074 万円	5 億 8,518 万円	▲ 11.0%
合計		108 億 3,564 万円	120 億 7,656 万円	▲ 10.3%



▼性質別経費の内訳

公債費	14 億 2,028 万円	(19.5%)
物件費	13 億 4,506 万円	(18.5%)
人件費	12 億 8,067 万円	(17.6%)
補助費等	9 億 8,457 万円	(13.5%)
普通建設事業費	8 億 6,344 万円	(11.9%)
扶助費	6 億 2,731 万円	(8.6%)
繰出金	5 億 9,447 万円	(8.2%)
維持補修費	1 億 0,064 万円	(1.4%)
その他	6,156 万円	(0.8%)
計	72 億 7,800 万円	(100%)

平成二十年度の予算の概要

平成二十年度、町の予算総額は、

百八億三千五百六十四万円で、前年度に比べて約十二億四千万円減少しています。

予算の中で最も多くの割合を占める一般会計は、七十二億七千八百万円で、前年比一億三千六百万円の増です（その他内訳は上表参照）。一般会計の歳入には、町民税、固定資産税、たばこ税などの町税を主とする「自主財源」と、国や

県からの補助金や町債などの「依存財源」があります。

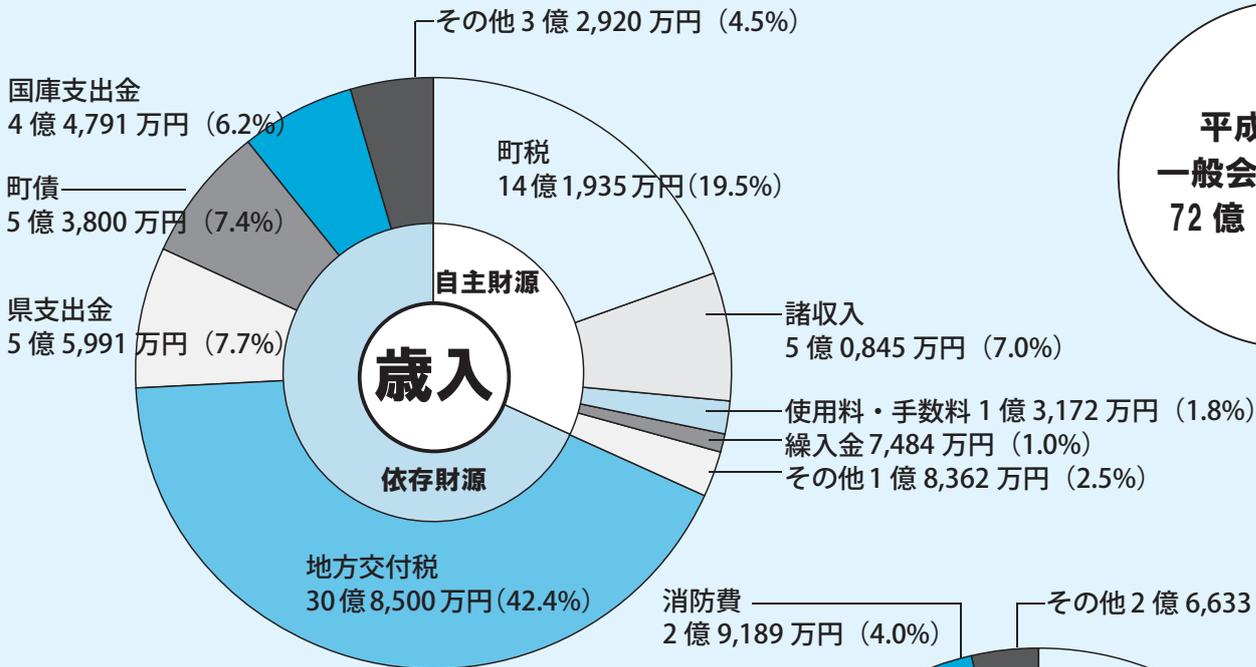
自主財源は一般会計の約32%で、残りの約68%が依存財源です。

歳入の約42%を占める地方交付税は平成二十年度は増に転じましたが、今後における先行きは不透明であり、財源の確保が困難になりつつあります。

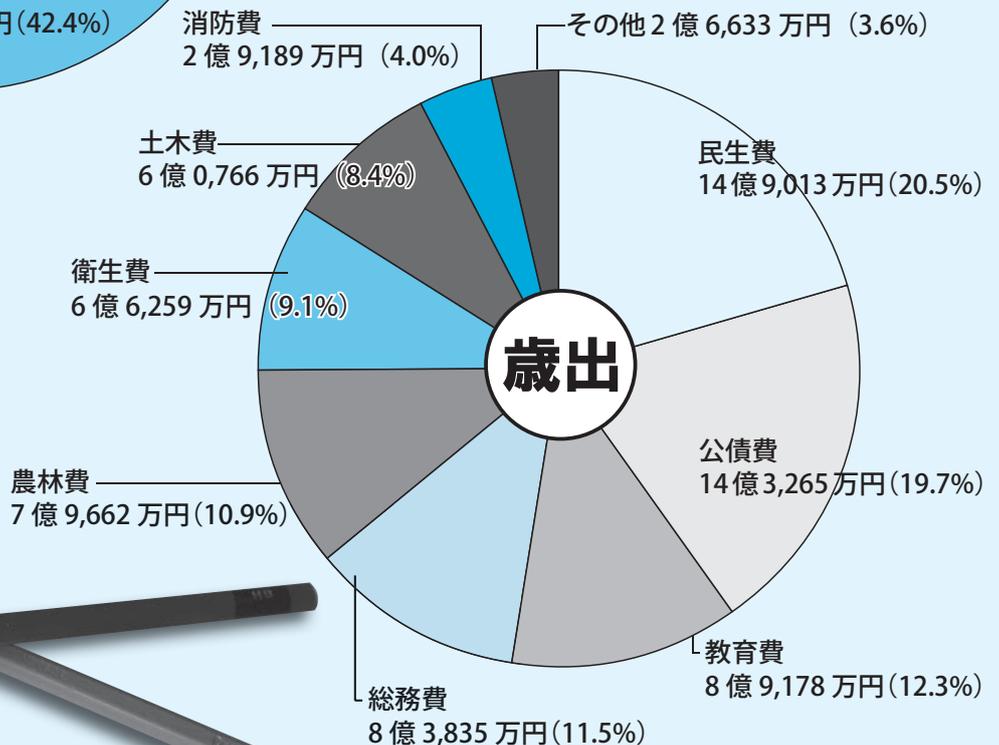
この限られた財源の中で、今年度も効率的に事業を行い、節度ある財政運営に努めます。

予断許さぬ財政状況 平成 20 年度

平成 20 年度
一般会計予算内訳
72 億 7,800 万円



自主財源
23 億 1,798 万円 (31.8%)
依存財源
49 億 6,002 万円 (68.2%)



平成 20 年度の主な事業

- | | | | |
|----------------------|-------------|---------------------|-------------|
| ◇地方バス運行費補助金 | 3,310 万円 | ◇いわて希望農業担い手応援事業費補助金 | 3,727 万円 |
| ◇デマンド交通事業 | 4,600 万円 | ◇草地・林地一体的利用総合整備事業 | 1億 1,500 万円 |
| ◇いわて銀河鉄道経営安定化基金造成負担金 | 2,268 万円 | ◇県営畑地帯総合整備事業費負担金 | 4,935 万円 |
| ◇障害者自立支援給付費 | 2億 6,400 万円 | ◇萬代館改修事業費 | 3,700 万円 |
| ◇後期高齢者医療事業費 | 1億 9,050 万円 | ◇町道整備事業 | 3億 3,850 万円 |
| ◇私立保育所運営委託費 | 8,814 万円 | ◇消防施設整備事業 | 1,797 万円 |
| ◇各種医療費給付費 | 7,019 万円 | ◇小鳥谷小学校校舎大規模改造事業 | 1億 4,160 万円 |
| ◇各種検診委託費 | 2,642 万円 | | |

みなさんの地域、
職場の楽しい話題の
情報をお待ちしています。
広報担当 ☎33-2111（内線 207）
までお気軽に、ご連絡をください。

まちの話題

大 平成 19 年度ことばの発表会に多くの拍手 きな成長、輝く児童の眼差し

平成 19 年度ことばの発表会が、一戸小学校で 3 月 12 日に行われました。はじめに、言葉の教室に通う 15 人で、口の体操「あいうえお」を発表。次に、一人ひとりが、1 年間取り組んだ課題を話し、詩や物語、作文の音読を発表しました。児童の堂々とした発表としっかりと聞く態度で実り多い会となりました。

教室を担当した塚本美佐子先生は、「児童たちは、授業ではもちろん、家庭での学習にも積極的に取り組み、児童と保護者の意識がとても高かったと思います。1 年間がんばってきた『話すこと、聞くこと』を大切に今後も生活してほしいです」と話しました。



①発表を行う瀬川七菜さん（奥小）
②みんなで口の体操「あいうえお」
③発表を行う中田凌くん（一戸小）

町 盛岡で「いちのへ いいもの いい暮らし展」 の逸品、その良さ広く PR

一戸町地域おこし事業振興協議会は、3 月 8・9 日の両日、盛岡市の保存建造物の南昌荘で、町内の工芸品などを集めた「いちのへ いいもの いい暮らし展」を開き、竹細工や裂織りという逸品の数々を PR しました。

盛岡市での開催は昨年に続き、2 回目。会場では織り機、布ぞうりづくりの実演や体験コーナーも開催され、家族連れや主婦たちで終日にぎわい、両日で 574 人が訪れました。



↑反物などを織る織り機のコーナーは人気を集めました。

深 姉帯侍村公民館で小鳥谷移動公民館開催 める地域交流、こぼれる笑顔

姉帯の侍村公民館（山道甚五郎館長）で小鳥谷移動公民館事業が陽光温かな 3 月 13 日に行われました。

同公民館では、小鳥谷移動公民館などを利用し、毎月 1 回程度、地域住民が集まります。

交通安全の講話を聞いたり、体操やレクリエーションなどさまざまな活動を行い、健康づくりや交流を深める活動を行っています。



↑参加者は 23 人。



↑この日、楽しんだレクリエーションは「スカットボール」。

↓参加者は悪戦苦闘しながらも、完成すると笑顔と歓声に。



コ 御所野縄文博物館で好評のアクセサリづくり コハク色の誘惑にたくさんの人

御所野縄文博物館「コハクでアクセサリづくり」が3月16日に行われ、定員を超える21人が参加しました。

今回使用したコハクは、黄色がかった乳白色の原石タイプ（ハルト産）と透明な黄色の人エタイプ（久慈産）の2種類。前者は黄色い筋の独特の様子が特徴で、後者は不純物を取り除き美しい反射が楽しめるのが特徴です。



↑コハクは、上が原石タイプで、下が人エタイプです。

春 町内のトップ切り、一戸中学校で入学式挙行 、大きな希望に満ちた第1歩

町内のトップを切って平成20年度一戸中学校入学式が、4月4日に挙行されました。

真新しい、少し大きめの制服に身を包んだ新入生55人は、終始緊張した面持ちで式に臨みました。



↑高山真利さんの誓いの言葉

「学習に力を入れて、努力すること、思いやりのある豊かな心を育てること、健康でたくましい体をつくること」と新入生に取り組んでほしいことを新入生に話しました。



↑保護者や上級生が見守る中、新入生は力強く第1歩を踏み出しました。

国 一戸町の国民年金推進員に猿ヶ澤正さん 国民年金相談の窓口新たな顔



このたび、一戸町の国民年金推進員に猿ヶ澤正さんが委嘱されました。国民年金推進員は、夜間や土・日も被保険者宅を訪問し、保険料の収納や保険料の免除申請の受付、国民年金制度についての説明などを行っています。国民年金について、お気軽にご相談ください。お問い合わせは、岩手社会保険事務局二戸社会保険事務所 ☎23-4111 まで、ご連絡ください。

永 一戸町婦人消防協力隊連合会に県知事感謝状 きの地道な活動に、大きな誉

3月19日、岩手県民会館で行われた平成19年度岩手県消防表彰式において、一戸町婦人消防協力隊連合会（橋本チヨ子会長）に岩手県の達増知事より感謝状が授与されました。

婦人消防協力隊は、冬期間に消防団員の出稼ぎ者が多い地区の留守部隊として、昭和40年代から平糠地区、摺糠地区、面岸地区でそれぞれ結成されました。その3隊が協力して効果的な事業を行うため、平成3年に一戸町婦人消防協力隊連合会として発足し、地区の消防団の支援部隊として、火災予防活動や初期消火訓練などを行っています。

橋本会長は「今回の表彰は大きな喜び。発足当時と今では地域の状況も大きく変化し、協力隊を巡る環境も変わりましたが、今回の表彰を契機により継続的な活動を行えるように努めたい」と感想を述べました。

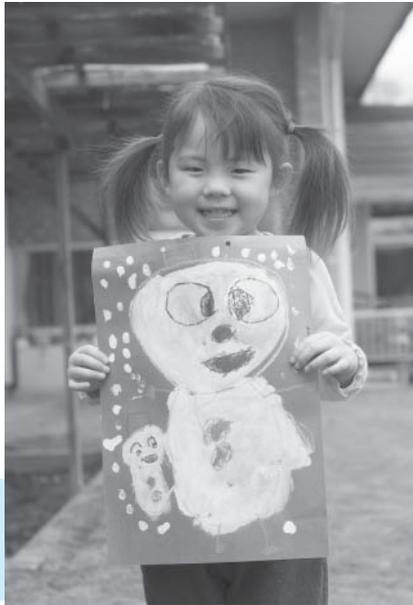


↑知事から表彰を受ける橋本チヨ子会長と山下かつみ副会長

ぼくとわたしの作品展

鳥海保育所のお友達のすてきな作品を紹介します

戸村中咲心ちゃん (4歳・うさぎ組)
雪が降り、とてもうれしかったので、
大好きな雪だるまを描きました。



吉川心羽ちゃん (5歳・ぱんだ組)
きりん組になったら、友達とアサガ
オの種をまきたくて、描きました。

鈴木みのりちゃん (6歳・きりん組)
お家と自分の絵を描きました。自分
でも上手にできたと思います。



※組の名前は、3月現在のものです

町の文芸

短歌

若き日は分身のごとき編機をば
惜しみつつ今朝は粗大のゴミに
冬晴れの山に銜す啄木鳥の
タラランタララ枯木を叩く
診察を待つ間交はせる女らの
過ぎ来し苦悩淡々とあり
人知れず心震うも装えば
検査の台はかたく冷たし
節分の豆撒きにふと思ひ出す
煎り豆噛みし防空壕を
地名入りの湯飲み茶わん亡き父の
旅の証を棚に飾れる
遠近に無数の蠟の抜け殻を
やさしく包みからまつ積もる

俳句

薄氷に微かの光眩しかり
凍てし月美女の眉よりなお細し
水木団子華やぎてをり無人駅
通院の皆背な丸め二月尽
開かむとする力見ゆ寒牡丹
鴉二羽去りて又二羽春兆す
網あげてはち切れさうな寒の鯽
母のふる気配に開ける障子かな
着ぶくるる太ったなどと言はば言へ
夜半更けて金銀照らす寒の月
安心の郷土食あり凍豆腐

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 中村 | 根反 | 女鹿 | 仁昌寺 | 駒木 | 中館 | 中村 | 東山 | 高木 | 柴田 | 岩渕 | 東山 | 馬林 | 岡田 | 岩渕 | 女鹿 | 仁昌寺 | 中村 |
| のぶ | 与之 | 昌子 | 洋子 | 秋影子 | 木実 | ちよ | 智子 | 満里 | サヨ子 | 良子 | 智子 | 京子 | 湖草 | 良子 | 昌子 | 洋子 | ちよ |

二月短歌・俳句会
一戸町文化協会俳句部会
会場 小島谷地区公民館

※中央の模様は、柴田外男広報編集委員 (大塚) がデザインしました

★ 一 等 星

♪一歳になったよ♪



米田 ^{ももか} 百々花ちゃん
(宇別本村)
平成 19 年 3 月 4 日生まれ
お父さん 新一さん
お母さん 淳子さん
お父さん、お母さんから一言
お姉ちゃんと仲良く
元気に育ってね!



堺田 ^{ひゅうが} 飛我ちゃん
(月館美濃口沢)
平成 19 年 4 月 25 日生まれ
お父さん 悦章さん
お母さん 裕子さん
お父さん、お母さんから一言
わんぱくでもいい、
たくましく育ってほしい



三谷 ^{かずき} 和輝ちゃん
(奥中山西田子)
平成 19 年 4 月 3 日生まれ
お父さん 剛史さん
お母さん 雅子さん
お父さん、お母さんから一言
大物になってね~!

吉谷地 強子さん
よしやち・きようこ 24 歳
慶寿園プラザぶなの風

吉谷地強子さんは、慶寿園プラザぶなの風の元氣印。ヘルパー兼デザイナーの職員として充実した日々を送る。

吉谷地さんは二年前、将来の生活のため、職業安定所のヘルパーの講座を受け、資格を取得、慶寿園のデザイナーを体験した。同年四月に地

地元でできた施設に対する地域住民の期待の大きさを感じました。お客様には、楽しい時間を過ごしていただきたいと考えています。

元の奥中山地区に、慶寿園プラザぶなの風が開所、ヘルパーとして働くことになった。

開所当時は、働く職員も初めてのことばかり。どう動けばいいかわからない時期もあったが、職員が意見を出し合い、話し合いを重ねた。

強子さんは「地元でできた施設に対する地域住民の期待の大きさを感じた。お客様には、楽しい時間を過ごしてい

ただきたい」と語り、職員一丸となって、地域に密着したサービスを展開する。

休日には、買い物や料理を楽しむ、「和食は祖母の味に近づきたい」と目を輝かせる。

写真撮影をお願いすると近くにいた利用者から「写真とって、嫁に行かれたら、私たちは困るよ」と声が上がった。

Q好きなタイプは?—楽しい人
Q趣味は?—料理づくり

広報クイズ

〜戸町共通商品券〜
(1,000 円分)
3人にプレゼント!

先月号の当選者は、東山三郎さん(高善寺)、高間木美智子さん(平糠)、不来方女子さん(中山)です。おめでとうございます。

◎広報クイズです。

問題 苦米地賢司さんが出場したカーリンググミックスダブルスの世界選手権が開催された国名は?
「オランダ」

ハガキにクイズの答え、住所・氏名、年齢(学校名、学年)、電話番号を記入し、
〒0218-1531
一戸町高善寺字大川鉢
24-9 広報クイズ係まで。
(四月二十五日締め切り)
※余白に町政への提言などをお書きください。

♪一歳になったよ♪ ————— 5月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集!! ご希望の方は4月25日までに広報までご連絡願います

老人保健法 医療受給者証

市町村番号	2	7	0	3	0	9	9	8
受給者番号								
受給者	居住地							
	氏名							
	生年月日	年	月	日	男・女			
	一部負担金の割合							
	法第25条第1項第2号の認定年月日	年	月	日				
	発効期日	年	月	日	日から有効			
	発効機関名及び印	岩手県 一戸町長 印						
	交付年月日	年	月	日				

↑こちらの受給者証を回収します

平成二十年四月から後期高齢者医療制度が始まりました。今まで使用していた老人医療受給者証は使用できなくなりません。
つきましては、老人医療受給者証を回収しますので、一戸町役場税務町民課、または各支所へお届けください。(郵送も可能です)

●新しく後期高齢者医療制度が始まりました
老人保健医療受給者証の回収について

●一戸町老人医療費助成事業の変更について

一戸町ではこれまで、独自に六十八と六十九歳の方を対象に医療費の一部負担金の助成を行っていましたが、今回、事業の見直しを行い、平成二十年四月から六十九歳の方のみの対象と変わりました。ただし、

現在六十八歳で老人医療費助成受給者証をお持ちの方は、平成二十一年三月三十一日までの診療について引き続き助成を受けられます。平成二十一年三月三十一日を持って、この制度は終了となります。

●退職者医療制度の改正について

国の制度改正により平成二十年四月から、国民健康保険の退職者医療制度が変わりました。これまでは、七十四歳までの方が退職者医療制度の対象者でしたが、平成二十年四月からは、六十五歳以上の方がこの制度の対象外となり、一般の国民健康保険に切り替わります。このことによりまして、六十五歳以上の保険証切り替え対象の方に、新たに一般分の保険証を平成二十年三月末に送付しました。四月からはこちらの保険証をお使いください。
なお、この切り替えにより、被保険者の医療費などの負担割合が、変わることはありません。

保健カレンダー

- 1歳6ヶ月児健診
- ・4月22日(火) 13:00～ 保セン BCG予防接種
- ・4月21日(月) 13:00～ 保セン ポリオ予防接種
- ・4月16日(水)・23日(水)・30日(水) 13:00～ 保セン
- 結核・肺がん・特定健診(これまでの基本健診)・大腸検診
- ※受付時間 午前9:00～11:00 午後1:00～2:30
- ※場所により、時間が変わります
- ※保険証をご持参ください。
- 4月14日 姉帯多目的集会施設
- 4月16日 鳥越小学校
- 4月17日 小鳥谷地区公民館
- 4月18日 午前 小鳥谷公民館
午後 面岸保健福祉館
- 4月21日 午前 翔遊館
午後 月館公民館
- 4月23日 奥中山農業団地センター
- 4月24日 午前 奥中山農業団地センター
午後 旧宇別へき地保育所
- 4月28日 午前 小友公民館
午後 上小友公民館
- 4月30日 午前 宮田温泉保養所
午後 出川町つどいセンター
- 5月1日 午前 中女鹿公民館
午後 女鹿館公民館
- 5月2日 根反公民館
- ・こころの悩み事相談：必要により専門医が相談に応じますのでご相談ください。
- ・助産師の妊婦・産婦・新生児の家庭訪問と栄養士による栄養相談・家庭訪問を行っています。
- ※詳しくは ☎32-3700 まで

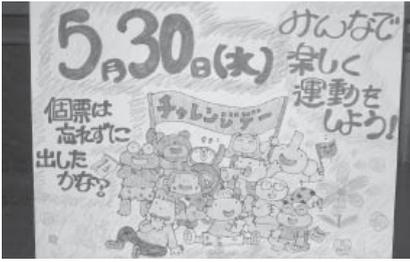


▲特定健診(これまでの基本健診)が始まっています。健康のため、受診をお忘れなく

今年から「国保係」が役場庁舎へ移りました

5月28日(水)はチャレンジデー!

▼昨年の鹿児島県知覧町との対戦には、惜しくも敗れたものの、町内各地ではたくさんの方の汗と笑顔が見られました。



「チャレンジデー 2007」

「町内会に設置される回収箱」
地域住民が鉛筆を用意したり屋根をつけたりと工夫がいっぱい

「運動したら参加票に記入を」
運動の実感が継続のコツ! 参加票に記入する時の表情はみんな明るい



「奥中山高原グランドゴルフ大会」
元気に明るく選手宣誓! 大自然の中スポーツするって気持ちいい!



「朝の町内一斉ラジオ体操」
どこでもいつでもだれとでも! ここから一日がスタートします



「鳥越小学校にてヨガ体験教室」
スポーツには色々な種類が。普段体験できないことにもチャレンジ!

▼「標語」たくさんのご応募ありがとうございました! 応募作品から皆さんに紹介し、広報活動に活用させていただきます。

- ☆『マイペースで頑張るぞ 自分のため』 女鹿字女鹿館の田代智子さん
- ☆『チャレンジデー 健康づくりの第一歩』 中山字大塚の西館テツ子さん

図書館だより ☎31-1400

休館日は 4月14・21・28・30日 5月7・12日
開館時間 火～金 10:00～19:00 土日祝 9:00～18:00



『知得 宮沢賢治の全童話を読む』
國文學編集部編、學燈社刊
宮沢賢治はなぜ童話を書いたのか? 『イギリス海岸』、『どんぐりと山猫』など、宮沢賢治の全ての童話を解説。賢治の世界に迫ります。

新刊紹介



『数の悪魔』
エンツェンスベルガー著、晶文社刊
算数が大嫌いなロバートの夢に「数の悪魔」が現れ、真夜のレッスンが始まります。1や0のマジック、ウサギのつがいの秘密など、果てしない数の世界をのぞきませんか?

今日は読書びより

『市民シンクタンクのすすめ』

高原稔著 日本地域社会研究所 2007年
待っているだけでは何も変わらない。役所に頼りっぱなし・任せっきりにしない、真の市民参加型自治体を目指すために誰でも実践できるノウハウが満載の一冊です。

みんなの来ブラリ「食育」

普段、よく聞く「食育」ですが、皆さんは実践していますか? 今月は、大人も子供も「食」について楽しく学べる本を紹介します

こどもの本の特集は「昔の遊び」

最新のゲームも面白いけれど、昔の遊びにも楽しいものがたくさんあります。遊びを通じて、ちょっと昔にタイムスリップしませんか?

4月の図書館行事

- ◎4月12日(土) 10時30分 おはなし会
- ◎4月26日(土) 11時 としょかん映画会
「ためきの糸車」「花さき山」



木戸 法久
きど のりひさ

一日も早く業務内容を覚え、皆さまのお役に立ちたいと思います。

よろしくお願ひします。



小寺 学
こでら まなぶ

多くの町民とふれあう機会を持ち、仕事に取り組んでいきたいと思ひます。

よろしくお願ひします。

平成 20 年度 町職員人事異動

※ () 内は前所属です。職名については、部課長及び所長のみとさせていただきます。

▲新採用職員（一般事務職 2 人）をご紹介します。よろしくお願ひします。

- ▼ 総務部総務課
 - ▼ 間下日出夫（議会事務局）
 - ▼ 上野淳子（税務町民課）
 - ▼ 総務部まちづくり課
 - ▼ 課長 江六前義則（健康福祉課）
 - ▼ 武田昭彦（コミュニケーション・図書館）
 - ▼ ニテイヤセンター・図書館
 - ▼ 総務部税務町民課
 - ▼ 成田光章（二戸地方振興局から派遣）
 - ▼ 中村祥子（健康福祉課）
 - ▼ 地切一彦（二戸地方振興局へ派遣・水環境課）
 - ▼ 塚野小知枝（会計課）
 - ▼ 一野辺資彦（総務課）
 - ▼ 小寺学（新採用）
 - ▼ 福祉部健康福祉課
 - ▼ 部長兼課長 柴田一美（まちづくり課長）
 - ▼ 長山哲也（地域整備課）
 - ▼ 木戸法久（新採用）
 - ▼ 産業部産業課
 - ▼ 木戸繁男（総務課）
 - ▼ 中村明央（御所野縄文公園）
 - ▼ 上里透（生涯学習課）
 - ▼ 建設部地域整備課
 - ▼ 宇部貢（学校教育課）
 - ▼ 柴田俊也（税務町民課）
 - ▼ 建設部水環境課
 - ▼ 石嶋義昭（地域整備課）
 - ▼ 議会事務局
 - ▼ 佐藤代和（産業課）
 - ▼ 学校教育課
 - ▼ 三角恵美（税務町民課）
- ▼ 生涯学習課
 - ▼ 久保克則（総合運動公園）
 - ▼ 平野克己（産業課）
 - ▼ 御所野縄文公園
 - ▼ 中島恭伸（まちづくり課）
 - ▼ 小鳥谷支所兼姉帯支所
 - ▼ 高屋敷亮（生涯学習課）
 - ▼ 保育所
 - ▼ 榎山へき地保育所長 安江幸子（摺糠へき地保育所長）
 - ▼ 摺糠へき地保育所長 中村優子（奥中山保育所）
 - ▼ 鳥越児童館長 田村みえ子（小鳥谷保育所）
 - ▼ 小鳥谷保育所 坂本真知子（一戸幼稚園）
 - ▼ 一戸幼稚園 柴田玲子（鳥海保育所）
- ▼ 退職者
 - ▼ 上平龍一郎（福祉部長兼健康福祉課長）
 - ▼ 鈴木純一（小鳥谷支所長兼姉帯支所長）
 - ▼ 柴田恵七郎（産業課）
 - ▼ 仁昌寺一男（税務町民課）
 - ▼ 池田千代子（健康福祉課）
 - ▼ 石嶋キミ子（健康福祉課）
 - ▼ 川底トシエ（健康福祉課）
 - ▼ 大澤アキ子（榎山へき地保育所長）
 - ▼ 平井千保（鳥越児童館長）
 - ▼ 市橋泰三（奥中山公民館）
 - ▼ 橋場佑孝（学校教育課）

一戸交番だより

◎『新入学児童、園児の交通事故防止』

幼稚園・保育園や小学校に入學すると、友達も増え、行動範囲が広くなり、屋外での遊びも多くなります。

まだ未熟な子供たちにとって、交通事故は最も身近な危険となりますので、皆さんの力で子供たちを交通事故から守りましょう。

○大人の皆さんがお手本です

子供は大人の行動をよく見ており、良いことも悪いこともまねします。運転中に携帯電話を使用したり、近くに横断歩道があるのに利用しなかったことはありませんか？日ごろから正しい交通マナーを実践して手本を示しましょう。



☎33-3059

○通学路などの点検をお願いします

子供と一緒に通学路を歩いてみましょう。気をつけて見ると注意しなければならない場所が見えてきます。安全に通行する方法も教えながら、子供の歩く速度でゆっくり行いましょう。

○子供の特性を理解した運転を心掛けましょう

大人であれば、たやすく理解できる危険状態でも、子供たちはとっさの判断ができないため、飛び出しなど危険行動をしがちです。子供を見かけたら、スピードを落として、安全な間隔をとって通行しましょう。

◎平成 20 年の交通事故発生状況【2 月末現在】

	件数	前年数	前年比
人身事故	7 件	4 件	3 件
死者	0 人	0 人	—
傷者	8 人	5 人	3 人
物損事故	40 件	56 件	▲ 16 件
飲酒運転検挙	0 件	0 件	—

まちの お知らせ ひろば1

一戸町臨時職員募集案内

■職種・募集人員

- ①一般事務補助員（事務補助・窓口受付など）1名
- ②国土調査事務補助員（事務補助・山歩きや杭運搬などの現地作業）1名

■必要な免許資格など

- ①パソコン操作（ワード、エクセルなど）のできる方
- ②普通運転免許（AT車限定を除く）があり、パソコン操作（ワード、エクセルなど）のできる方

■雇用期間

5月1日～10月31日

■就業時間

8:30～17:30

■賃金

月額5,300円～6,300円程度
（通勤距離が2km以上の場合、距離に応じて通勤手当を支給）

■試験日・場所

4月24日（木）
時間は後ほど連絡 役場会議室

■試験方法

個別または集団面接

■その他

できれば町内在住の方

■申し込み方法

履歴書（市販のもの、写真貼付）を4月18日（金）まで、下記担当課へ提出してください。（郵送可。4月18日（金）必着）

※一般事務補助と国土調査事務補助員のいずれに申し込むのかを履歴書の余白に明記してください。

【問】〒028-5311 一戸町高善寺字大川鉢24-9 一戸町役場 総務課庶務係 ☎33-2111 内線206

総合運動公園トレーニング ルーム臨時休館のお知らせ

ワックス掛け清掃のため、トレーニングルームを臨時休館させていただきますのでご了承ください。なお、トレーニングルーム以外の屋外施設については、通常どおりご利用いただけます。

■臨時休館 4月28日・29日

【問】総合運動公園 ☎33-4444

し尿くみ取り料金の改定

二戸地区広域行政事務組合ではし尿くみ取り料金を平成7年5月の改定以来13年間据え置いてきましたが、構成市町村（二戸市、一戸町、軽米町、九戸村）の財政事情が年々厳しさを増し、燃料の大幅な値上がりなどによる収集運搬費用の増加のほか、し尿処理場（二戸地区衛生センター）が改築以来10年を経過し、し尿貯留設備などの老朽化により維持管理費が増加しています。

そこで、平成20年5月1日からし尿くみ取り料金を、次のように改定させていただきます。

▶し尿10ℓ当たり58円（現行50円）、
ただし、200ℓまで1,160円（現行1,000円）

皆様のご理解とご協力をお願いします
【問】二戸地区衛生センター ☎23-2651

妊婦・2歳児・節目（40歳、50歳、 60歳）歯科健診のお知らせ

歯科保健の向上を目的に、妊婦・2歳児・節目（40歳、50歳、60歳）歯科健診を歯科医療機関への委託により、実施します。

- ・妊婦歯科健診は、妊娠届時に妊婦歯科健診受診票を交付→出産前までにご利用願います。
- ・2歳児歯科健診は1歳6カ月児健診時に2歳児歯科健診受診票を交付→2歳3カ月までに利用願います。
- ・節目歯科健診（40歳、50歳、60歳）は節目歯科健診受診票を個人通知。

■対象者

- ・40歳（昭和43年4月2日～44年4月1日生）
- ・50歳（昭和33年4月2日～34年4月4日生）
- ・60歳（昭和23年4月2日～24年4月1日生）

- 健診料金は無料。（治療費は有料）
- 受診は、歯科健診受診票と保険証を持参し、妊婦・2歳児の方は、母子健康手帳もお持ちになり受診してください。

【問】健康福祉課 保健係

☎33-2111 内線615

軽自動車・固定資産税の 減免について

1. 軽自動車税の減免対象

◇身体などに障害がある方で、歩行が困難な方が所有する軽自動車

2. 固定資産税の減免対象

◇生活保護を受けている方が所有する固定資産、または公民館・集会所、消防屯所など

上記減免を受ける場合は4月23日（水）までに納付書を添えて役場税務町民課へ申請してください。

【問】税務町民課 内線122

IGR 通学定期運賃の一部助成 について

一戸町並行在来線利用促進協議会では、通学生をお持ちの家庭の経済的負担の軽減を図るため、町内にお住まいのIGR通学定期利用生の保護者へ通学定期運賃の一部を助成しています。

使用を終えた定期券を持参のうえ、最寄りのIGR駅窓口で補助金交付申請書に証明を受け、申請書を提出してください。なお、申請書の交付と定期券の使用証明は、IGR沿線いずれの駅でも受けられます。申請書の提出は役場まちづくり課、または、各支所で受け付けています。

【問】まちづくり課 企画係

☎33-2111 内線213

一戸町民農園・サンビレッツ ジガーデンの利用者の募集

■所在地 一戸町西法寺字大平地内（総合運動公園に隣接）

■区画 畑6区画（1区画約40㎡）

■使用料 1区画 年間3,000円

■設備など 水道、管理舎、貸出用の簡単な農具も備えています。

■利用できる方 満20歳以上の個人、または満20歳以上の方を代表者とするグループ

■申込方法 所定の使用許可申請書にご記入の上、産業課へ提出してください。申請用紙は電話で産業課へご請求ください。

■申込期限 3月28日（金）

【問】産業課 農業振興係

☎33-2111 内線255

安全に農作業が行えるよう、機械の点検、整備をきちんと行い、使用する際は細心の注意をはらいましょう。

相談

働く人の心とからだの 医師による無料相談

- 日時 5月8日(木) 午後1時～3時
- 場所 二戸市総合福祉センター
- ※新たに長時間労働者への医師による面接相談窓口を開設しましたので、ご利用ください。
- [問] 二戸・久慈地域産業保健センター ☎23-4466

多重債務者弁護士無料相談

- 日時 4月25日(金)・28日(月)
5月 7日(水)・12日(月)
午前10時～午後3時まで
- 場所 二戸地方振興局 1階
消費生活相談室
- [問] 二戸地方振興局 費生活相談室 ☎23-9201
- ※予約制ですので、前日までに電話で予約してください。

連休期間中のごみ収集についてのお知らせ

ゴールデンウィーク中のごみ収集について、カレンダーどおり祝日は収集を休みますので(下表参照)、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。
[問] 水環境課生活環境係 ☎33-2111 (内 230)

月 日	ごみ収集
4/29(火) 昭和の日	収集休み
4/30(水)	通常どおり
5/1(木)	通常どおり
5/2(金)	通常どおり
5/3(土) 憲法記念日	小型粗大ごみの収集休み (※クリーンセンター稼働 8:45～12:00)
5/4(日) みどりの日	収集休み
5/5(月) こどもの日	収集休み
5/6(火) 振替休日	収集休み (※クリーンセンター稼働 8:45～14:00)
5/7(水) 以降は通常どおり	
☆二戸地区クリーンセンターの休日稼働日	
5/3(土) 憲法記念日	8:45～12:00
5/6(火) 振替休日	8:45～14:00
※持ち込み可能なのは…【可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ】	

■休日当番歯科医

▼診察時間：午前9時～正午

■休日当番医

▼診察時間：午前9時～午後5時

月日	医療機関	地区	電話	医療機関	地区	電話
4月20日	ムカイダ歯科クリニック	軽米	46-4636	松井内科医院	一戸	33-2201
27日	渡辺歯科医院	二戸	23-2052	管整形外科皮膚科クリニック	二戸	23-7311
29日	森川歯科医院	二戸	23-6361	川村医院	二戸	23-3252
5月3日	岩淵歯科医院	一戸	32-2238	二戸クリニック	二戸	25-5770
4日	窪島歯科医院	二戸	23-2425	斉藤産婦人科医院	二戸	23-2505
5日	ほんだ歯科クリニック	二戸	23-9591	小原内科医院	二戸	23-3410
6日	ぼっぱ歯科クリニック	一戸	31-1182	藤田内科	二戸	38-2772
11日	ますだ歯科クリニック	二戸	26-8282	小野寺内科医院	一戸	33-2505

健康相談室からお知らせ

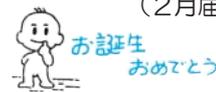
- 場所 まちの健康相談室
- 時間 午後1時から4時
- 4月19日 骨年齢測定 (10～12時)
- 23日 心配事相談
- 28日 介護相談 (3時まで)
- 5月7日 心の悩み事相談
- 14日 心配事相談
- ※毎週水曜日、午後1時～4時にフットケアを開催。希望の方は、タオルを3本持参ください。(1回3人以内)
- [問] イコオショッピングセンター内
まちの健康相談室 ☎33-4535

二戸地区無料法律相談

- 日時 4月22日、5月13日
午前10時から午後3時まで
- 場所 二戸市役所※1日10人まで
- 予約受付 二戸市 生活環境課
- [問] 二戸市 生活環境課 ☎23-3111
岩手弁護士会 ☎019-623-5005

戸籍だより

(2月届出分)



名前	保護者	住所
田村 心羽	一人	一戸北館
尾崎 和	努	奥中山西田子
上平 寛稀	和彦	一戸砂森
山火 遥人	敏幸	一戸向町
中島 優佑	信幸	奥中山西田子
馬場 星那	達郎	一戸砂森
澤久保 吉兆	貴弘	岩館馬場平



名前	住所
(双畑 佳樹	檀山双畑
(槻館 友美	
(上平 佳史	一戸向町
(田村 雅子	
(中島 幸治	高善寺傘木
(遠山 奈緒美	

ごめい福を お祈りします

名前	住所	年齢
小堀 新太郎	平糠東	93
西野 祐夫	檀山保坂	65
平船 伊一郎	一戸大沢	83
鈴木 正廣	鳥越上野平	80
渡辺 サト	出ル町岩清水久保	86
柴田 トシ	鳥越太田	68
吉谷地 光雄	中山大畑	72
猪股 正男	女鹿中崎	76
冬川 隆一	西法寺関屋	64
柴田 重次郎	鳥越悪戸平	92
白ヶ敷 イワ	小島谷仁昌寺	94
小石川 トシ	高善寺野田	91

(敬称略)

※広報への掲載を希望しない方は届出の際に、戸籍係にお申し出ください。

★保育施設開放★

鳥海保育所 ☎32-2220
小島谷保育所 ☎34-2524
奥中山保育所 ☎35-2319
は5月13日(火)9:30～
一戸子供の家保育園 ☎33-2859
「子育てサークルのびのび」は
4月16・23・26日 9:30～
※場所は保育園です。



まちの お知らせ ひろば2

i ショップホームページ <http://waza.town.ichinohe.iwate.jp/>

※携帯電話で左のバーコードを読み取るか、上記の URL からご覧ください

4 月

- 19 日(土) **総合運動公園**
野球場使用開始
総合運動公園
- 22 日(日) **春のクリーンデー**
御所野縄文公園
午前 9 時から
- 26 日(土) **としょかん映画会**
コミュニティセンター
午前 11 時から
- 27 日(日) **手づくり市**
いちのへ手技芸館
午前 10 時から
- 27 日(日) **わわわのステージ**
コミュニティセンター
午後 1 時から

5 月

- 10 日(土) **消防団操法競技会**
役場前駐車場
午前 8 時から
- 11 日(日) **消防演習**
役場前駐車場・一戸小
午前 7 時 30 分から

人の動き(2月1日現在)

人口	15,323 人 (- 12 人)
男	7,417 人 (- 16 人)
女	7,918 人 (+ 4 人)
世帯数	5,866 世帯 (+ 4 世帯)
	() は前月比
転入	24 人 (+ 45 人)
転出	29 人 (+ 67 人)
出生	7 人 (+ 15 人)
死亡	14 人 (+ 35 人)
	() は平成 20 年 1 月からの累計

イベント [問]=問合せ、申込みは

いちのへ手技芸館 第 1 回手づくり市

- 日時 4 月 27 日 (日)
午前 10 時～午後 1 時
- 場所 いちのへ手技芸館
- ◎町の特産品展示販売 (竹細工・木工品・織物ほか)
- ◎餃子作り教室 時間 10 時～12 時
参加料 500 円 (材料代)
- ▶定員 先着 15 名
- ▶申込締切 4 月 18 日 (金)
※定員になり次第、締め切ります。
- ◎木工教室 随時受け付けます。申し込み・内容などは、事前に下記までお問い合わせください。
- [問] 地域おこし事業振興協議会
事務局 (役場産業課内)
☎33-2111 内線 258

フリーマーケット参加者募集

- 御所野縄文公園の春のイベント「縄文むらまつり」で、フリーマーケットに出店してみませんか。会場では多彩なステージ発表やふれあい動物園、縄文体験など楽しい催しがたくさん行われます。世界遺産登録を目指す御所野遺跡をみんなで盛り上げていきましょう。
- 日時 5 月 3 日(土) 午前 10 時～
 - 場所 御所野縄文公園 (屋外)
 - 出店料 一区画 500 円
 - [問] 御所野縄文公園 ☎32-2652



お知らせ

献血のお知らせ

- 下記のとおり、献血を行います。皆様の温かい協力をお願いします。
- 日時 4 月 21 日 (月) 全血献血
10:00～11:30 中山の園
13:00～14:30 いわて奥中山農協本所
15:00～16:00 奥中山高原温泉
奥中山自然休養村管理センター
 - [問] 健康福祉課 保健係
☎32-3700 内線 606

AED を用いた救急救命講習会

- 心肺蘇生法、AED (自動対外式除細動器) の取扱いと実技訓練を行います。受講された方には、講習修了証書を発行します。多数の参加をお待ちしています。
- 日時 4 月 25 日(金) 午後 6 時～
 - 場所 九戸村保健センター
 - [問] 二戸保健所 ☎23-9206

歯のテレホン相談

- 口の中の健康に関する無料電話相談「ヨイ歯デーテレホン相談」
- 日時 4 月 18 日 (金)
午前 10 時～午後 8 時まで
相談を受付後、午後 7 時以降に協会歯科医師から相談者に電話します。
 - 受付内容 歯あるいはお口に関する悩みについて何でも
 - 相談料 無料
☎019-651-7341
(岩手県保険医協会ヨイ歯デーレホン相談係まで)
 - [問] 岩手県保険医協会歯科部会
☎019-651-7341

奥中山高原温泉

町民割引券 (H20.5.30 まで有効)

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰り入浴が下記金額でご利用できます。(本券 1 枚につき 1 人有効。また、煌星の湯ご利用時に本券を使用した場合、貸しタオル、ヨーグルトはありませんので、ご了承ください。)

◇煌星の湯 ◇朝朱の湯

おとな 600 → 500 円 500 → 300 円
こども 300 → 250 円 250 → 150 円

奥中山高原温泉

町民割引券 (H20.5.30 まで有効)

この券で朝朱けの湯・煌星の湯の日帰り入浴が下記金額でご利用できます。(本券 1 枚につき 1 人有効。また、煌星の湯ご利用時に本券を使用した場合、貸しタオル、ヨーグルトはありませんので、ご了承ください。)

◇煌星の湯 ◇朝朱の湯

おとな 600 → 500 円 500 → 300 円
こども 300 → 250 円 250 → 150 円

町民割引券について

奥中山高原では町民の皆さんが温泉を利用しやすいよう、左の割引券を発行します。

点線で切り取り、入浴時にフロントに提出すれば左記の料金になりますので、ぜひご利用ください。

朝朱の湯大浴場





↑血圧の状態はどうでしょうか？



↑1月10日に行われたヘルスアップ教室



↑上平龍一郎福祉部長から一人ひとりに修了証が手渡されました



春も笑顔が 咲くように

(o^▽^o) /

※健康は、一生の宝物。笑顔で
国保ヘルスアップ教室閉講式

国 保ヘルスアップ教室の閉講式が、三月二十五日、総合保健福祉センターで開催されました。この教室は、メタボリックシンドローム対策に焦点を当て、生活習慣の改善や、生涯にわたる生活の質の維持や向上を目指して五十六人が参加し、実施されました。

受講者は、昨年十月から月一回程度、身体や生活状況の経過を記録しながら、栄養士による栄養指導や運動指導、個別相談などを行い、各々の目標に向け、活動を行ってきました。そして、生活習慣病の知識の習得や実践力、継続した健康行動を身に付けました。

この日は、血圧など十項目を記録し、修了証を受講者一人ひとりに授与しました。健康福祉課では、今後も町民の健康づくりを支援していきます。

国保ヘルスアップ教室を修了した方にお話を聞きました

talk interview



◎一戸字向町
中村 勝彦さん
なかむら・かつひこ

なかなか自分で健康づくりを行っても、長続きをしません。しかし、今回の教室のようにたくさんの仲間と目標を立てて、楽しく活動できたことはとても良かったと思います。

万歩計も付けて、記録を行い、受講前に比べて、体重は5kg、腹囲は9cm減り、とても効果がありました。

今も夫婦で健康づくりのためにウォーキングを楽しんでいます。これから春になり、ますます楽しみになってきます。



◎高善寺字野田
平船 トシ子さん
たいらぶね・とし

教室を受けるまであまり食生活に注意していなかった部分もありましたが、指導を受けて考え方も大きく変わりました。また、教室の期間中は少し風邪をひいたこともあったけれど、体も軽くなり、体調も良くなりました。

教室の雰囲気も健康づくりについて、相談しやすく、とてもためになりました。

これからがスタートです。自分の健康のため、春に向けて健康づくりを続けていきたいと思っています。



編集後記

春になり、冬の使者白鳥の旅立ち（写真・馬淵川、向町地区、三月十三日撮影）。▼「広報いちのへ」の題字が変わりました。より良い広報づくりを目指す広報編集委員会で決定したものです。

今後の町を担う若い方や子供たちも、身近に感じ、手に取ってもらえるように読者層を広げる狙いがあります。▼私は、今年度も広報担当に。皆さんの生き生きとした様子を伝えるため、走り回ります。改めて、よろしくお願ひします。▼今年度の広報発行予定日は、第二金曜日、お知らせ版は、第四金曜日です。（久保田）